

請 願 文 書 表

受付年月日	平成31年1月25日
件 名	「核兵器禁止条約」に署名・批准を求める請願
要 旨	(別紙請願書のとおり)
請願者並びに紹介議員	鳥羽市大明東町12-17 三重県原爆被災者の会(三友会) 会長 山口 詔利 紹介議員 坂倉 紀男

請願第8号

「核兵器禁止条約」に署名・批准を求める請願

紹介議員 坂倉 紀男 印

「核兵器禁止条約」に署名・批准を求める請願

【請願の趣旨】

広島・長崎の原爆被爆から74年目になります。人類が作り出した最も残忍な兵器である核兵器による地獄を体験させられた私たちは、今日まで自らの命を削る思いで被爆体験を語り、核兵器による犠牲者が二度と生まれぬことを強く願って運動を続けてまいりました。この地球上から核兵器をなくすことは、私たち被爆者の悲願です。

その願いに今、大きな希望の光が見えてきました。それは2017年7月、国連で122カ国の賛成を得て「核兵器禁止条約」が採択されたことです。条約は第1条で「核兵器の開発、実験、生産、製造、取得、保有、貯蔵、移譲、受領、使用、使用の威嚇」を全面的に禁止しており、画期的な内容です。さらに、この条約採択に際し世界各国で革新的な貢献をしたとして2017年10月、ICAN（核兵器廃絶国際キャンペーン）がノーベル平和賞を受賞したことは、核兵器廃絶へ向けての国際的な合意を後押しするものです。

日本政府はこの条約に反対を表明していますが、今こそ日本は、唯一の戦争被爆国として地球上の核兵器廃絶に向けて主導的役割を果たすべきです。そのために、私たち被爆者は、先ず日本政府に対し「核兵器禁止条約」への署名・批准を求めます。

この願いが被爆者のみでなく、国民的意義があることをご理解いただき、貴議会が「核兵器禁止条約」への署名・批准を求める決議を採択され、政府（内閣総理大臣、外務大臣）および国会（衆参両院議長）にその意見書をご提出くださるよう、お願い申し上げます。